

令和4年4月27日

令和3年度森林における放射性物質モニタリング調査結果について

森林における放射性物質モニタリング調査結果について、森林保全課ホームページに4月27日に掲載し、公表します。

記

1 調査概要

森林内における放射性物質の動態を解明し、その対策を進めるため、平成23年度から継続的に調査を実施している。

【令和3年度調査】

- ・空間線量率調査箇所数：1,300箇所（県内民有林）
- ・詳細調査箇所数：80箇所（放射性セシウム濃度：樹皮、葉、辺材、心材、落葉層、土壌）

2 調査結果

- ・平成23年度からの継続調査箇所362点の平均空間線量率は $0.17 \mu\text{Sv/h}$ 。平成23年度調査（ $0.91 \mu\text{Sv/h}$ ）と比較して約81%減少しており、物理的減衰率とほぼ同じく減少。
- ・樹木内部の放射性セシウム濃度による木材利用への影響はなし。
- ・葉の放射性セシウム濃度は、平成25年度調査と比較して約96%低減。
- ・森林内の放射性物質は、立木や落葉層から土壌へと移行し、全体の95%以上が土壌に分布。
（林野庁公表：令和3年度森林内の放射性物質の分布状況調査引用）
- ・広葉樹における萌芽枝の放射性セシウム濃度は平成25年から平成27年度に大きく低下し、その後は漸減傾向。

3 森林保全課URL

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055d/>

連絡先 福島県農林水産部 森林保全課 副課長兼主任主査 吉成吉美
電話 024-521-7861 県庁内線 3453